

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2019-02-01

APM news 207

秋山孝ポスター美術館 長岡

国の登録有形文化財・長岡市都市景観賞受賞・金庫扉と雁木のある美術館



〒940-1106 新潟県長岡市内宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

日本ブックデザイン賞2018

作品展示および授賞式

展示期間: 10月6日(土)~28日(日)

授賞式: 10月13日(土)pm2:30~pm5:00/出席者: 89名



今年も秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) 主催のコンペティション・日本ブックデザイン賞 (JBD) を開催した。今回で4回目となった。応募総数418点 (一般の部: 196点、学生の部: 222点) の内、厳選なる審査の結果決定した入賞・入選作品全247点 (一般の部: 136点、学生の部: 111点) をAPMにて展示した。展示期間中の10月13日 (土) には授賞式も執り行った。

JBD2018の特徴は、応募部門にポスター部門が加わったことと、応募作品がデータでのエントリーとなったこと (ブックデザイン・セルフパブリッシング部門、ブックデザイン・パブリッシング部門を除く) だ。ポスター部門は秋山館長がずっと設置を切望していた部門だ。ポスター専門の美術館が主催するコンペティションとしてより意味のある内容となった。

今年の授賞式も全国から多くの方にご列席いただき盛大な式となった。APM館長・審査委員長の秋山孝は挨拶で、本のコンペティションは難しいと言われている中、長岡という地方の町で4回目の開催を迎えられたことへの感謝を述べた。それは応募者をはじめ、関わっている方々の意志や意識の高さ故であると強く感じ、この先も工夫と改善を繰り返し、力の続く限り継続していきたいと語った。続くAPM運営委員会副会長・牧野忠昌氏の挨拶、長岡市副市長・水澤千秋氏と協賛の北越コーポレーション株式会社社長岡工場長・谷口喜三雄氏の祝辞では、いずれも長岡市の歴史を絡めたお話を頂戴し、長岡市が歴史と共に文化が育まれ続けている地であるという事を再認識した。谷口氏の祝辞の際には、今年も協賛いただいたことへの感謝状を贈呈した。

賞状授与では、受賞者がそれぞれ受賞の喜びや今後の活動への意気込みの言葉を語った。また、授賞式後の懇親会では、列席した入選者への賞状授与も行い、皆さんの喜びの表情で会場はいっぱいとなった。

懇親会では審査員の方からお話いただくのが恒例となっているが、応募者の方々にとっては、とても興味深い時間ではないだろうか。その中で大迫修三氏は、主張が強い作品や挑戦的な作品をみるできるのでJBDの審査は面白いと感想を述べられた。

JBDは来年5周年を迎える。同時にAPMも創立10周年という節目の年だ。懇親会でのNPO法人ながおか未来創造ネットワーク・笠原典明氏の祝辞で、JBD2019の作品展示をAPMだけでなく、長岡駅前にあるシティホールプラザ・アオーレ長岡でも開催する計画が進行中であることが発表された。ますますパワーアップするJBDへの期待が高まる中、JBD2018は幕を閉じた。(たかだみつみ・APM学芸員)